



団体交渉  
ポイント③

## 安全確保・サービス提供に必要な冬期要員を求める

### 申1号・2018年度「冬期の取組み」に対する申し入れ

新潟地本は11月21日、申1号・2018年度「冬期の取組み」に対する申し入れの団体交渉を行いました。安全・安定輸送や質の高いサービスの提供を実現しながら今冬期を乗り越えるために、職場からの声に基づいて要員配置について議論を行いました。

#### 越後湯沢駅…公募制の社員も冬期要員として組み込み

- 越後湯沢駅の冬期要員（営業）の運用期間は、昨年の乗降人員など利用状況を分析して総合的に見て3月17日までとした
- 案内対応として部外能力の活用により社員のフォローをしていく考え。サービスマネージャーなども活用して欲しい
- 公募制で異動する社員も冬期要員数に組み込むため、標準数を上回った場合はその人数が冬期要員3名から除かれる



- <支社> インバウンド対応など、この時期の越後湯沢駅などでしか出来ないこともある
- <組合> 冬期の提案は+3。目的は多客対応であり、公募制の目的からしてそぐわない。意欲は解るが意欲と現実、即戦力というものとは違う
- <支社> 意欲があり、かつ経験してきた社員だ。駅一丸となって盛り上げてもらいたい

#### 上沼垂信号場…冬期に専ら行う作業はないとして要員は現状のまま

- 夜間の泊り勤務体制は1名であり、何かあれば寝ている人を起こしての対応が所定。対応の際は列車を停止させることで作業の安全は確保できている。現状の体制で問題ない
- 車両入換や投排雪保守用車の作業対応など、冬期において毎日専ら対応する必要のある作業は発生しないことから、2名体制とはしない
- 現場からは2名にして欲しいという話は具体的にもらってはいない

#### 輸送指令 信越B卓…要員を増やしても設備的に限界



- 保守用車を収容する際に指令と連絡が取れなかったという話は把握しており、早めに収納したいという認識はある。
- B卓の要員については配置している。人や電話を増やして受けたとしても操作できる端末自体が2つしかないので制御ができない。
- 輸送指令と連絡がつかない場合に、施設指令なら連絡が取れる場合もある。施設指令から情報共有を行っていく